

して夏季は之を幕外に移す。富者は斯の如き氈幕、二三或は七八を有し、一箇の氈幕、内部の裝飾共に、千金以上に價するもの少からず。貧者及普通の氈幕は、用具の設備と、毛氈を敷きたるのみにて、敢て裝飾を施さず。哈薩克には別に教會堂としての氈幕あるを見ざりき。

蒙古族の
氈幕

蒙古族の氈幕は、其の構造、略、哈薩克と同一なるも、内部の設備器具等は甚だ粗造にして、哈薩克のものに比較すれば、大に劣等なりとす。其の氈幕の大なるは、大抵喇嘛廟にて、佛像及佛壇、供具等美觀を極むるを見る。哈薩克の氈幕内及其の外邊は、稍、清潔なるが、蒙古族は一般に不潔にして、臭氣鼻を衝き、暫くも止まるべからず。

第五節 風 習

纏頭回

纏頭回は農工商業に通達し、且つ勤勉の良風あり。然れども、概ね貯蓄心に乏しきが故に、貧者多く、富者少なし。古來東西民族の侵入内訌等に因て、屢、兵燹に罹りしも亦其の大原因を爲せしならんか。

彼等は熱心なる回教信者なり。隨て其の性質爽快、且つ正直の者多し。只都府